

令和 7 年度公社等点検評価表

(一次点検評価・二次点検評価)

公 社 等 名	福島県道路公社
所 管 部 局	土木部
担 当 課	道路計画課

《評価資料》

1	公社等点検評価表	-----	1~6
2	付表 1 (概要)	-----	2-1
3	付表 2 (実施事業)	-----	3-1
4	付表 3 (経営状況)	-----	4-1
5	付表 4 (経営分析等)	-----	5-1
6	付表 5 (組織人員体制)	-----	6-1
7	付表 6 (県関与の状況)	-----	7-1
8	別紙 1 (県の財政的関与 (支援) の内訳)	-----	8-1
9	別紙 2 (役員等の状況)	-----	9-1

〔一次点検評価：公社等の自己点検〕

視点１：計画性（マネジメントサイクルの確立）

公社等経営の理念・目標・方針などが、各種計画等に反映され、事業の企画立案、実施、評価、改善が行われているかという、経営マネジメントサイクルの視点

１ マネジメントサイクルの確立

経営計画等の具体的な成果目標とこれまでの評価、事業目標とその実績（付表２）の評価

第６期中期経営計画の最終年次の令和６年度においては、基本理念である「安全で安心な有料道路等の提供」に基づき、適正な事業の執行に努めた。

また、有料道路や有料駐車場の利用促進や維持管理経費、事務経費の節減等による経営の効率化にも継続して取り組みを行った。

有料道路事業の福島空港道路は、令和６年４月１３日に小野ＩＣから滝根ＩＣ間（自動車専用道路区間）を含む、県道吉間田滝根線の開通により通行台数の増加が見込まれたが、小野ＩＣの平田方面への上り線入口の通行止めの継続や８月の相次ぐ台風の接近等による不安定な天候が続いたこともあり、上半期は前年度より６.９％減の通行台数となった。

下半期に入り、秋の行楽期等の３連休をはじめ、土・日曜日の通行台数が増加し、原発事故避難者の無料措置通行台数を含めた、令和６年度の全通行台数は、前年度より６,３５５台増の４６１,０２９台（対前年度比１０１.４％）となった。

- (１) 有料道路事業については、福島県と連携して福島空港道路の適切な維持管理に努めた。

利用促進のための広報事業については、県の広報誌等を活用したＰＲを行ったほか、ホームページや料金所ブースを利用した沿線地域の観光、イベント情報等の提供を通年で実施した。また、県道吉間田滝根線の開通に伴い、相双地域との連携や利便性の向上、沿線地域の観光、行事等の魅力を掲載したポスター、チラシを新規に作成し、県内の主要な道の駅や隣接する栃木県、茨城県北部、県央の道の駅、市町村等に配付を行った。

さらに、福島空港で開催された「道の駅・空の駅まつり」、「空の日フェスティバル」や栃木県那須町の「那須九尾まつり」に展示ブースを設け、利用のＰＲを実施したほか、県中、県南、相双、いわき地域の道の駅、立地企業、観光施設、市町村等への利用促進のための訪問ＰＲ活動を実施した。

福島空港道路の維持管理については、区画線工事や路面損傷箇所の補修、路面清掃、法面の除草等の環境整備、冬期間の雪氷対策を実施した。さらに、原発事故による避難者及び母子避難者等に対する帰宅、帰還を支援するための無料措置を継続して実施した。

これらにより、福島空港道路の令和６年度の有料通行台数は、４３２,１７４台（対前年度比１０２.３％）、料金収入は１３７,９５３千円（対前年度比１０１.９％）となった。

この結果、第６期中期経営計画の令和６年度目標値（年間有料通行台数５５２,２００台、料金収入１７８,０００千円）に対する達成率は、年間通行台数で７８.３％、料金収入で７７.５％となり、目標を達成することができなかった。

- (２) 有料駐車場事業については、県内の４市６箇所にも月極駐車場を設置し、管理・運営を行っている。

駐車場の利用を促進するため、現地看板やホームページによる利用者募集や空き情報の提供を継続して実施したほか、直営による定期的な清掃、除草作業等を実施し、良好な駐車場環境の確保に努めた。

令和６年度の駐車場料金収入については、あづま陸橋駐車場（福島市）の道路管理者による橋りょう補修工事の完了に伴い、通常の使用が可能となったことから、２３,７２４千円（対前年度比１２３.４％）となった。

- (3) 経営の効率化については、令和元年度から「あぶくま高原道路の維持管理業務委託契約に複数年契約を導入し、経費の節減と入札事務の軽減を図っており、令和6年度においても継続して実施した。
- また、プロパー職員や県職員の退職職員を嘱託職員とする再雇用を継続した。

2 マネジメントサイクルにおける環境変化・住民ニーズの把握方法

- (1) 「第6期中期経営計画」（令和4年度～6年度）の令和5年度実績評価のための経営計画マネジメント委員会を開催（令和6年7月17日）した。
- (2) 「第7期中期経営計画」（令和7年度～9年度）策定のための経営計画マネジメント委員会を開催（令和7年3月10日）した。

（民間有識者（公認会計士、中小企業診断士）各1名を専門委員としている。）

視点2：経済性・効率性

事業の収支バランスと採算性・収益性の視点

1 経営状況（付表3）及び経営分析等（付表4）についての評価

- (1) 令和6年度も前年度に引き続き、プロパー職員や県職員の退職職員を嘱託職員として再雇用することにより、人件費の縮減を図った。
- (2) 令和6年度の事業収入については、福島空港道路の有料通行台数が432,174台（対前年度比102.3%）と増加したことや、あづま陸橋駐車場の橋りょう補修工事の完了に伴い通常使用に戻ったことなどから、161,808千円（対前年度比104.6%）と増加した。
- 補助金等の収入額は、前年度までのプール制道路の無料開放に伴う福島県負担金の減などにより167,142千円（対前年度比50.8%）となった。
- 支出状況については、事業費は前年度までのプール制道路の無料開放償還金の減等に伴い305,889千円となった。また、管理費は消費税の増加などにより、15,412千円となった。
- この結果、当期収支差は25,355千円の黒字となり、令和6年度末における固定負債の長期借入金の額は、12,000千円を償還し、2,032,782千円となった。

2 サービス向上策の評価

- (1) 有料道路事業の利用促進については、福島空港で開催の「道の駅・空の駅まつり」や「空港フェスティバル」、栃木県那須町の「那須九尾まつり」に展示ブースを設け利用のPR活動を実施したほか、令和6年4月の県道吉間田滝根線の供用開始に合わせた、県中、相双、いわき地域の企業、道の駅、観光施設等の訪問PR活動を実施した。
- さらに県内の主な「道の駅」をはじめ、栃木県、茨城県北部地域や県央地域の「道の駅」へのポスター、チラシの配付を行った。
- この結果、小野IC上り線入口の通行止めの継続等により、年度前半は利用が伸び悩んだものの、後半に入り徐々に回復傾向が見られ、年度全体の通行台数は6,335台増の461,029台となった。
- (2) 有料駐車場事業については、各駐車場の除草、清掃作業等を定期的 to 実施し、良好な駐車場環境の整備に努めた。また、荒町駐車場については開閉式バーを設置しているため、利用者へのリモコンキーの受け渡し等の管理事務を継続して、県庁消費組合に委託し、利用者の利便性の向上を図った。

〔二次点検評価：左に対する所管部局としての評価〕

視点１：計画性（マネジメントサイクルの確立）

公社等経営の理念・目標・方針などが、各種計画等に反映され、事業の企画立案、実施、評価、改善が行われているかという、経営マネジメントサイクルの視点

第６期中期経営計画（令和４年度～令和６年度）を策定し、適切な事業経営に努めている。道路公社の事業は、道路整備特別措置法により設置された福島空港道路の有料道路事業をはじめ、有料駐車場事業及び福島県管理道路のあぶくま高原道路における管理受託事業を行っており、それぞれ設立の目的に合致又は補完するものである。

本事業は、住民福祉の増進と地域経済の発展に寄与するものであり、公益事業にふさわしいものである。

有料道路事業の通行台数については、小野 IC の平田方面への上り線入口の通行止の継続や８月に相次ぐ台風の接近等による不安定な天候が続いたこともあり、上半期は前年度より通行台数が減少したが、下半期に入り、秋の行楽期をはじめ、土・日曜日の通行台数が増加している。しかし、事業認定計画の通行台数、料金収入に対して、大幅に下回っており収支差損が発生していることから、引き続き通行台数の増加に努め、収支の改善を図る必要がある。

〔評価の視点〕 ※２マネジメントサイクルにおける環境変化・住民ニーズの把握方法について

民間有識者（公認会計士、中小企業診断士）からアドバイスを受け、第７期中期経営計画（令和７年度～令和９年度）を策定した。

第７期中期経営計画では、有料道路の安全・安心の確保、経営の安定化に向けた計画を定めている。

視点２：経済性・効率性

事業の収支バランスと採算性・収益性の視点

〔評価の視点〕

昨年度の事業収入については、福島空港道路の有料通行台数が 432,174 台（対前年度比 102.3%）と増加したことなどから、有料駐車場料金収入を含む事業収入は 161,808 千円（対前年度比 104.6%）と増加したが、補助金等の収入額は、前年度までのプール制道路の無料開放に伴う福島県負担金の減などにより 167,142 千円（対前年度比 50.8%）となった。

支出状況については、事業費は前年度までのプール制道路の無料開放償還金の減等に伴い 305,889 千円となった。また、管理費は消費税の増加などにより、15,412 千円となった。

この結果、当期収支差は 25,355 千円と黒字となり、令和６年度末における固定負債の長期借入金の額は、12,000 千円を償還し、2,032,782 千円となった点は評価できる。

さらに、有料駐車場事業については、各駐車場の除草、清掃作業等を定期的の実施し、良好な駐車場環境の整備に努めた。また、荒町駐車場については開閉式バーを設置しているため、利用者へのリモコンキーの受け渡し等の管理事務を継続して、県庁消費組合に委託し、利用者の利便性の向上を図った点が評価できる。

〔一次点検評価：公社等の自己点検〕

視点３：課題への対応状況

共通課題１：東日本大震災からの復旧状況

原子力発電所事故に伴う損失・損害賠償請求の状況

令和６年度についても原子力発電所事故に伴う損失は生じていないため、損害賠償の請求は行っていない。

なお、県による原発事故による避難者の支援策として、避難者及び母子避難者等に対し帰宅、帰還を支援することとしているため、「福島空港道路」については、令和６年度においても引き続き無料措置を実施した。

個別課題：

(1) 経営目標、経営の効率化について

当公社の経営目標や効率化等を内容とする「第６期中期経営計画」（令和４年度～６年度）の最終年次となる令和６年度は、県道吉間田滝根線の供用開始により、相双地域との連繋と利便性の向上が期待され、これらの効果による交通量を見込んだ目標値を定め取り組んだが、小野ＩＣ上り線入口の工事による通行止めが続いたことなどにより目標値を達成することができなかった。

令和７年度からは「第７期中期経営計画」（令和７年度～９年度）の目標の達成に向け、引き続き県や市町村等の関係機関との情報共有を図り、「安全・安心・快適な有料道路の提供」、「利用者ニーズに応える道路施設やサービスの提供」に取り組むとともに「公社経営の安定化」に努める。

(2) 当公社の課題

福島空港道路は、平成１３年３月の供用開始から２４年が経過し、道路施設・設備等の老朽化や道路施設の損傷が生じ、道路施設の更新等が必要となってきた状況にあることから、今後、県と協議を行い適切な対応と管理に努める。

また、現在工事中の小野ＩＣ上り線入口の工事完了に伴い、磐越自動車道からの乗り入れの効果が期待されることから、これらの状況を踏まえ、道路施設・設備の更新や福島空港道路の利用促進のための広報活動について、県と協議して進めていく必要がある。

〔二次点検評価：左に対する所管部局としての評価〕

視点 3 : 課題への対応状況
共通課題 1 : 東日本大震災からの復旧状況 原子力発電所事故に伴う損失・損害賠償請求の状況
原発事故による避難者及び母子避難者等に対する無料措置については、道路公社が迅速に実施したこと、料金収受員への適正な指導により、書面確認が必要となっても料金所での渋滞が発生せず、円滑に無料措置が行われていたことが評価できる。 今後も、高速道路の無料措置の動向に合わせた対応が必要となる。
個別課題 :
当公社の経営目標や効率化等を内容とする「第 6 期中期経営計画」（令和 4 年度～ 6 年度）の最終年次となる令和 6 年度は、県道吉間田滝根線の供用開始により、相双地域との連繋と利便性の向上が期待され、これらの効果による交通量を見込んだ目標値を定め取り組んだが、小野 I C 上り線入口の工事による通行止めが続いたことなどにより目標値を達成することができなかったが、令和 7 年度からは「第 7 期中期経営計画」（令和 7 年度～ 9 年度）の目標の達成に向けた取組を確実に実施する必要がある。

2 付表1: 公社概要

公社等の名称	福島県道路公社					
設立根拠法令	地方道路公社法					
設立年月日	昭和46年6月1日					
代表者職氏名	理事長 曳地利光					
事務所の所在地	西白河郡矢吹町下宮崎166番地					
ホームページアドレス	http://www.dorokosha-fukushima.or.jp					
県所管部・課	土木部 道路計画課					
設立目的	福島県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。					
経営理念・目標等	有料道路や有料駐車場の管理・運営を計画的かつ適切に行うことにより、交通の円滑化を図るとともに、基本理念である「安全で安心な有料道路等の提供」に基づき、安全・安心・快適な道路環境の確保と、サービスの提供に努め、地域住民の福祉の向上と、地域産業の発展に寄与する。また、有料道路や有料駐車場の利用促進を積極的に推進することにより、料金収入の増加を図るとともに、組織の効率的な運営と事務経費の節減等に努め、公社経営の効率化を図る。					
資本金・基本金 (単位:千円)	22末	R3末	R4末	R5末	R6末	R7末予定
	1,315,000	790,000	790,000	790,000	790,000	790,000
県出資額 (構成比)	1,315,000	790,000	790,000	790,000	790,000	790,000
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
令和6年度末 出資等内訳 (単位:千円) ※県分を除く。	出資順位	団体名		出資額		構成比
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
主な事業内容 (詳細:付表2)	県内の有料道路の建設管理を主な事業とし、現在、1路線(福島空港道路「高規格道路」)の維持管理・運営を行っている。 その他、あづま陸橋有料駐車場等6カ所の月極駐車場を運営している。					

3 付表2:実施事業

1	事業名	有料道路事業					継続事業	公益事業
	事業内容	県内1路線の有料道路の維持管理						
	目標	福島空港道路は許可計画に対して大幅に通行台数が少ないため、通行台数の増加及び収支の改善を図る。						
	事業実績	令和 6年度 通行台数合計 461,029台 (無料通行台数 28,855台を含む。)(6/5 101.4%) 令和 5年度 通行台数合計 454,694台 (無料通行台数 32,037台を含む。)						
	事業費	H22決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R5/H22	R6/H22
	(単位:千円)	916,155	303,535	266,847	333,515	303,238	36.4%	33.1%
2	事業名	有料駐車場事業					継続事業	公益事業
	事業内容	県内6有料駐車場(月極)の維持管理運営						
	目標	県有財産の保全活用と都市機能の向上のため、有料駐車場の利用促進を図る。						
	事業実績	令和 6年度 契約駐車台数合計 251台 (6/5 123.6%) 令和 5年度 契約駐車台数合計 203台						
	事業費	22決算	3決算	4決算	5決算	6決算	R5/H22	R6/H22
	(単位:千円)	40,912	22,539	21,761	19,220	23,745	47.0%	58.0%
3	事業名	あぶくま高原道路管理事業					継続事業	公益事業
	事業内容	福島県からの委託に基づき、あぶくま高原道路の維持管理 平成13年3月より受託開始(福島空港道路供用開始と同時)						
	目標	高規格自動車専用道路として、常に安定した交通の確保を図る。						
	事業実績	令和 6年度 維持管理受託業務(L=8.6km) (6/5 100.0%) 令和5年度 維持管理受託業務(L=8.6km)						
	事業費	H22決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R5/H22	R6/H22
	(単位:千円)	144,256	163,398	157,832	169,913	167,142	117.8%	115.9%

4 付表3:経営状況

区 分		H22決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R5/H22	R6/H22
収 支 の 状 況	① 収入	6,485,943	1,204,179	853,465	564,755	382,338	9%	6%
	当期収入合計	6,442,938	1,181,899	821,163	513,701	359,237	8%	6%
	うち基本財産運用収入	4,458	11	2	2	126	0%	3%
	うち事業収入	472,750	172,610	149,116	154,730	161,808	33%	34%
	うち補助金等	872,095	329,441	323,860	328,821	167,142	38%	19%
	うち借入金	5,092,994	679,759	347,759	30,000	30,000	1%	1%
	うち特定預金取崩	641	78	426	148	161	23%	25%
	前期繰越収支差額※1	43,005	22,280	32,302	51,054	23,101	119%	54%
	② 支出	6,443,264	1,171,877	802,395	541,643	356,983	8%	6%
	うち人件費総額	163,916	34,976	34,192	34,482	35,682	21%	22%
財 産 の 状 況	うち人件費総額管理費(除人件費)	33,497	12,275	13,252	9,506	15,412	28%	46%
	うち事業費(除人件費)	6,245,851	1,124,626	754,951	497,655	305,889	8%	5%
	③ 当期収支差額※2	42,679	32,302	51,070	23,112	25,355	54%	59%
	④ 次期繰越収支差額※1	38,565	32,302	51,070	23,101	25,355	60%	66%
	① 資産	9,775,865	2,472,165	2,471,633	2,442,015	2,433,134	25%	25%
	流動資産	1,201,414	287,039	297,539	278,141	271,895	23%	23%
	固定資産	8,574,451	2,185,126	2,174,094	2,163,874	2,161,239	25%	25%
	② 負債	10,639,202	2,637,569	2,474,443	2,332,154	2,324,195	22%	22%
	流動負債	2,508,305	376,470	202,218	51,893	43,393	2%	2%
	うち借入金	2,349,262	324,880	158,880	0	0	—	—
財 産 の 状 況	固定負債	8,130,897	2,261,099	2,272,225	2,280,261	2,280,802	28%	28%
	うち借入金	4,021,306	2,049,495	2,049,056	2,044,782	2,032,782	51%	51%
	③ 正味財産	△ 863,337	△ 165,404	△ 2,810	109,861	108,939	-13%	-13%
	うち当期増減額	390,822	697,932	162,594	112,671	△ 922	29%	0%

5 付表4:経営分析

区 分	H22決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R5/H22	R6/H22
①公益事業比率	100	100	100	100	100	100%	100%
支出額計	6,443,264	1,171,877	802,395	541,643	356,983	8%	6%
公益事業支出額	6,443,264	1,171,877	802,395	541,643	356,983	8%	6%
収益事業支出額						—	—
②直営事業比率	42.5	23.8	23.1	21.8	22.6	51%	53%
支出額計	459,196	163,397	157,832	169,913	167,142	37%	36%
直営事業支出額	195,338	38,929	36,508	37,101	37,740	19%	19%
再委託事業支出額	263,858	124,468	121,324	132,812	129,402	50%	49%
③自主事業比率 (自主事業／支出額計)	92.9	86.1	80.3	68.6	53.2	74%	57%
④施設等利用人数 (行政客体)	556,163 (年間総通行台数)	487,655 (年間総通行台数)	432,885 (年間総通行台数)	454,694 (年間総通行台数)	461,029 (年間総通行台数)	82%	83%
⑤施設等稼働率	101.4	99.2	88.8	105	101.4	104%	100%
⑥補助金等依存率 (補助金額／当期収入合計)	13.4	27.9	39.4	64	46.5	478%	347%
⑦流動比率 (流動資産／流動負債)	47.9	76.2	147.1	536	626.6	1119%	1308%
⑧管理費比率 (管理費／支出額計)	0.5	1	1.6	1.8	4.3	360%	860%
⑨人件費比率 (人件費／支出額計)	2.5	3	4.3	6.4	10	256%	400%
⑩借入金依存率 (借入金／資産)	65.2	96	89.3	83.7	83.5	128%	128%
⑪一人当たりの人件費 (人件費／総職員)	6,304	5,829	5,699	5,747	5,947	91%	94%
⑫一人当たりの事業収入 (事業収入／総職員)	51,724	83,675	78,829	80,592	54,825	156%	106%
⑬補助金等に含まれる人件費比率 (人件費／補助金等)	11.0	5.2	4.8	5.1	9.5	46%	86%
⑭事業収入に含まれる人件費比率 (人件費／事業収入)	14.5	10.4	12.5	11.4	12.2	79%	84%

5 付表4-2:經營分析

[illegible]

6 付表5:組織人員体制

1 役職員の状況

(単位:人)

区分		H22末	R3末	R4末	R5末	R6末	R7(4/1)	R6/H22	R7/H22
役員 (監事含む)	常勤役員	2	1	1	1	1	1	50%	50%
	プロパー							-	-
	民間							-	-
	県OB	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	県現職派遣	1						-	-
	その他							-	-
	非常勤役員	3	3	3	3	3	3	100%	100%
	民間	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	県OB							-	-
	県現職	2	2	2	2	2	2	100%	100%
	その他							-	-
	合 計	5	4	4	4	4	4	80%	80%
職員	常勤職員	16	4	3	3	3	3	19%	19%
	プロパー	4	0	0	0	0	0	-	-
	民間							-	-
	県OB		2	2	2	2	2	-	-
	県現職派遣	12	0	0	0	0	0	-	-
	その他		2	1	1	1	1	-	-
	非常勤職員	10	2	3	3	3	3	30%	30%
	嘱託員	3	1	2	2	2	2	67%	67%
	臨時職員	6	1	1	1	1	1	17%	17%
	人材派遣	0	0	0	0	0	0	-	-
	その他	1	0	0	0	0	0	-	-
	合 計	26	6	6	6	6	6	23%	23%

2 職員の年齢構成(令和7年7月1日現在)

(単位:人)

区 分		～30歳	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～
管理 職員	プロパー								
	民間								
	県OB								
	県現職派遣								
	その他								1
	合計	0	0	0	0	0	0	0	1
一 般 職員	プロパー								
	民間								
	県OB								2
	県現職派遣								
	その他								0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	2
総計		0	0	0	0	0	0	0	3

7 付表6: 県の関与状況

区 分		H22決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7当初	R6/H22	R7/H22
財政的関与	①補助金等	872,095	329,441	323,860	328,821	167,142	185,940	19%	21%
	補助金		0	0	0	0		—	—
	負担金	412,899	166,043	166,028	158,908	0	0	—	—
	交付金							—	—
	委託料	459,196	163,398	157,832	169,913	167,142	185,940	36%	40%
	指定管理料							—	—
	②貸付金	2,743,732	354,880	188,880	30,000	30,000	30,000	1%	1%
	③損失補償額(契約額)							—	—
	④債務保証額(契約額)	2,349,263	324,880	158,880	0	0	0	—	—
人的関与	⑤役員就任(監事を除く)	3	2	2	2	2	2	67%	67%
	常勤役員	2	1	1	1	1	1	50%	50%
	県OB	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	県現職派遣	1						—	—
	上記以外の職員							—	—
	非常勤職員	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	三役							—	—
	部局長	1						—	—
	県OB							—	—
	上記以外の職員		1	1	1	1	1	—	—
	⑥監事就任	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	三役							—	—
	部局長							—	—
	上記以外の職員	1	1	1	1	1	1	100%	100%
	⑦評議員就任	0	0	0	0	0	0	—	—
	部局長							—	—
	上記以外の職員							—	—
	⑧職員派遣	12	0	0	0	0	0	—	—
	管理職員	3	0	0	0	0	0	—	—
	一般職員	9	0	0	0	0	0	—	—

8 別紙1

区分	名 称	R6決算額
	補助等の目的	(単位: 千円)
委託料	あぶくま高原道路県管理委託料	167,142
	あぶくま高原道路の維持管理委託料	
	委託料額合計	167,142
貸付金	福島県貸付金	30,000
	有料道路事業の円滑化を図るための短期借入	
	貸付金額合計	30,000

9 別紙2

役員の状況

(令和7年6月末現在)

区分	定数	氏 名	常勤・非常勤の別	職 名	当初就任日 現任期満了日
理事長	1	曳地利光	常勤	元福島県土木部長	R6.4.1 R8.3.31
副理事長					
専務理事					
常務理事					
理 事	1	鈴木由起彦	非常勤	福島県土木部 次長(道路担当)	R6.4.1 R10.3.31
監 事	1	佐藤 成	非常勤	公認会計士	R5.6.1 R9.5.31
	1	渡邊重勝	非常勤	福島県土木部 政策監	R7.4.1 R9.5.31